

第41期

# 報告書

平成27年3月1日から平成28年2月29日まで

POPLAR

## 当社の強みを活かした出店戦略を展開してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成28年熊本地震で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、ここに当社第41期報告書(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成28年5月



代表取締役社長 目黒 真司

### Q1 当期の業績について教えてください。

政府の経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、海外景気の減速懸念などから、力強さに欠け、消費マインドが高まらない状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、中期計画「新創業」の1年目として、お客様第一、顧客満足への更なる向上を目指した取り組みを推進し、チェーン全店売上高62,357百万円(前連結会計年度比15.4%減)、営業総収入38,777百万円(同20.5%減)、営業利益82百万円(前連結会計年度実績：営業損失945百万円)、経常利益129百万円(同：経常損失925百万円)、当期純利益60百万円(同：当期純損失1,923百万円)となりました。

### Q2 当期の取り組み施策について教えてください。

#### ●業務改革(=業革)の状況

業革第1ステージで3年前から本格運用を開始した中食の発注支援システム「中食マックスシーク」による発注精度の向上に継続的に取り組んだ結果、中食カテゴリの売上はすべて前連結会計年度を上回りました。特に主力商材であるポップ弁の既存店売上が3年連続で前連結会計年度を上回り好調を維持しています。

また、業革第2ステージで、2年前から取り組みを開始したドライカテゴリ(=中食以外)のマーチャンダイジング検討会の結果、今期は飲料、菓子、酒、加工食品、雑貨など主力カテゴリの売上がすべて前連結会計年度を上回りました。

これら商品営業一体の業革により、顧客ニーズに適合する売場づくりを推進した結果、当連結会計年度の既存店前年比は累計で101.2%を達成いたしました。

#### ●商品・サービスの状況

商品面では、コンビニエンスストアの利用が伸長している働く女性層やシニア層をターゲットとした展開を強化しました。

まず、ポプラの中心商材であるポップ弁は女性層・シニア層をターゲットとした新ブランド「ポップ弁Light」の販売を平成27年12月から開始いたしました。「ポップ弁Light」は、従来のポップ弁ではちょっと量が多すぎると感じておられた女性層・シニア層の皆

様にも安心して召し上がっていただけるよう、「ヘルシー&ライト」をコンセプトにした商品ラインです。「ポップ弁Light」の投入で、ポップ弁全体の総販売数は3%上昇し、ポップ弁のユーザー層のすそ野が広がり好調に推移しております。

さらに、品質・少量にこだわったPBパン「プレミアムベーカリー」シリーズの投入や、バックンモーツアルトのパーティエこだわりレシピを忠実に再現したスイーツ「hitotema」など、女性のご褒美需要に対応した商品展開を強化しました。

また、楽天ポイントカードについては、更なる普及、新ユーザー獲得に向けて、カウンター商材のポイントプロモーションと連動したカード配布を集中強化しました。

#### ●株式会社ローソンとの取り組みの状況

平成26年12月に基本合意した調達分野での提携(=アライアンス1.0)では弁当やおむすびの原材料共通化が進み、全体で5%の原価ダウンを実現しました。ドライ商材の共同調達・物流については、当初平成27年9月からの全国運用を目指していましたが、システム開発の遅れなどによって平成28年2月から北陸地区での運用を開始しました。また、平成27年10月から首都圏の生活彩家39店舗では、ナチュラルローソンのこだわりのナショナルブランド商材の飲料、菓子、酒、加工食品カテゴリでの活用がスタートし、都心のビジネスパーソンの支持が拡大しています。

次に平成27年9月に基本合意した店舗分野での提携(=アライアンス2.0)では、人口構造の変化が著しい山陰地区において、「ローソン・ポプラ」のダブルブランド店舗を新設し、先行実験2店舗を出店しました。山陰地区の競合対策の切り札として事業育成中です。また、株式会社ローソンが出店を断念した比較的小規模の日販(=マイクロ・マーケット)立地への出店事業の展開での協業もスタートしています。

### Q3 今後の見通しについて教えてください。

第42期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入35,601百万円(当連結会計年度比8.2%減)、営業利益は158百万円(同92.0%増)、経常利益は177百万円(同36.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は106百万円(同76.4%増)を見込んでおります。

## 経営理念

- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

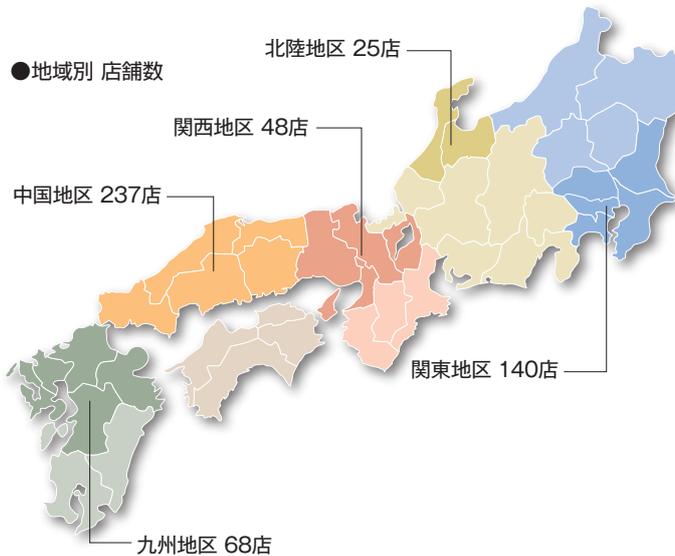
## ポプラグループのストアブランド



ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

## 新規出店の状況

新規出店は、法人加盟の開拓と企業コラボレーションによる出店を推進し、病院、大学など合計36店舗（閉店43店舗）を実施し、当連結会計年度末店舗数は518店舗となりました。



	当期実績	計画	差異	前期
出 店	36	59	△ 23	34
閉 店	43	30	13	164
期末店舗数	518	554	△ 36	525

### 下期の新規開設店舗18店舗(上期18店舗)

#### 【ポプラ】

- 江津舞乃市店(島根県)
- 佐賀兵庫北店(佐賀県)

#### 【生活彩家】

- 皇宮警察本部店(東京都)
- 明大マート和泉店(東京都)
- MUMSS目白台店(東京都)
- 霞ヶ関南病院店(埼玉県)
- 荻窪病院店(東京都)
- 新宿区役所店(東京都)
- 成田ビューホテル店(千葉県)
- JMU横浜構内店(神奈川県)
- みつわ台総合病院店(千葉県)
- アマゾン市川塩浜店(千葉県)
- みさと健和病院店(埼玉県)
- メリィ八千代店(広島県)
- Nitto尾道店(広島県)
- びわ湖大津プリンスホテル店(滋賀県)
- 古賀病院21店(福岡県)
- 新古賀病院店(福岡県)

## トピックス1 第50回春夏ポプラ展示会開催!

平成28年3月16日(東京)、3月25日(広島)「第50回春夏ポプラ展示会」を開催しました。両会場にはポプラ及び生活彩家のオーナー・店舗従業員の皆様、お取引先様や出店をご検討中のお客様など、たくさんの方々にご来場いただき、記念すべき50回目の展示会を盛大に執り行うことができました。会場では、春夏の新商品やキャンペーンのご案内、当社の方針や新たな取り組みの内容をパネルやセミナー形式でご紹介するブースが設けられ、参加された皆様はとて熱心に見学されていました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第41期	第40期
	平成28年2月29日現在	平成27年2月28日現在
<b>POINT 1</b> 流動資産	3,991	6,415
固定資産	8,636	9,929
有形固定資産	5,108	5,831
無形固定資産	758	814
投資その他の資産	2,769	3,283
資産合計	12,628	16,344

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第41期	第40期
	平成28年2月29日現在	平成27年2月28日現在
<b>POINT 2</b> 流動負債	5,649	8,942
固定負債	4,085	4,585
負債合計	9,735	13,527
株主資本	2,666	2,647
その他の包括利益累計額	226	170
純資産合計	2,893	2,817
負債純資産合計	12,628	16,344

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第41期	第40期
	平成27年3月1日から平成28年2月29日まで	平成26年3月1日から平成27年2月28日まで
<b>POINT 3</b> 売上高	34,960	44,679
営業収入	3,816	4,085
売上原価	27,459	35,082
営業総利益	11,317	13,682
販売費及び一般管理費	11,235	14,627
営業利益(△損失)	82	△ 945
営業外収益	84	75
営業外費用	37	55
経常利益(△損失)	129	△ 925
特別利益	124	196
特別損失	138	867
税金等調整前当期純利益(△損失)	115	△ 1,595
法人税、住民税及び事業税	62	78
法人税等調整額	△ 7	249
少数株主損益調整前当期純利益(△損失)	60	△ 1,923
当期純利益(△損失)	60	△ 1,923

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業総収入の内訳

	当期実績 (単位：百万円)	前期比 (%)
小 売 部 門	23,495	70.6
卸 売 上 部 門	9,614	96.8
加盟店からの収入	1,863	94.8
その他の営業収入	1,953	92.1
そ の 他 の 事 業	1,850	124.4
合 計	38,777	79.5

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

**POINT 1** 流動資産

前期末は休日であったため現金及び預金が増加しておりましたが、当期末は平日のため流動資産が前期末に比べ2,424百万円減の3,991百万円になりました。

**POINT 2** 流動負債

前期末は休日であったため仕入債務が増加しておりましたが、当期末は平日のため流動負債が前期末に比べ3,292百万円減の5,649百万円になりました。

**POINT 3** 売上高

売上高の内訳は、当社直営店舗の小売売上高23,495百万円(連結会計年度比29.4%減)、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高9,614百万円(同3.2%減)、その他の事業1,850百万円(同24.4%増)です。

トピックス2

株式会社ローソンとの取り組み

ポプラは、株式会社ローソン(以下「ローソン」)と平成26年12月に資本業務提携し、商品開発や原材料の調達、店舗開発情報の共有などで協業を進めてまいりましたが、平成27年11月、双方のチェーンブランドの「強み」を相互活用するための取り組みとして、山陰地区に両社のダブルブランド店舗「ローソン・ポプラ」2店舗をオープンさせました。ローソンの品揃えにポプラオリジナルの店内調理弁当「ポップ弁」の機能を加えた新型店舗で、地域のお客様に大変ご好評をいただいております。また、ポプラが運営する都市型コンビニ「生活彩家」とローソンが首都圏を中心に展開する「ナチュラルローソン」では、両ブランドの客層や取り扱い商品の特色に共通点が多いことから、商品調達や物流面での連携を強めるための取り組みも進めております。



## 会社情報 / 株式情報

### 会社概要

(平成28年2月29日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年(1976年)4月20日
チェーン店舗数	518店舗
従業員数	408名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

### 主な子会社

(平成28年2月29日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
ポプラ保険サービス 有限会社	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ・ プロジェクト	1,000	100	ローソン・ポプラ 店舗

(注) 1. 出資比率には、間接所有分( )を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.7%、大黒屋食品株式会社73.3%となっております。  
2. 平成27年11月2日に、会社分割(簡易新設分割)により、株式会社ポプラ・プロジェクトを設立し、当社が山陰地区で運営する直営コンビニエンスストア2店舗を承継しました。

### 役員

(平成28年5月26日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	社外取締役	藏田 和樹
代表取締役社長	目黒 真司	常勤監査役	宮崎 進
取締役副社長	中間 昭登	社外監査役	白田 耕造
取締役	野村 一雄	社外監査役	大野 勝美
取締役	市村 英世		

## コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



## Corporate Data/Stock Data

### 株式の状況

(平成28年2月29日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	9,905,822株
株主数	11,043名

第41期中間に比べ943名減少しました。

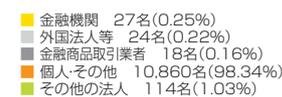
### 大株主(上位10名)

(平成28年2月29日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,192,144 株	22.13 %
ポプラ協栄会	1,712,609	17.28
株式会社ローソン	495,300	5.00
ポプラ社員持株会	311,231	3.14
株式会社広島銀行	212,960	2.14
三菱食品株式会社	176,855	1.78
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
日本生命保険相互会社	166,060	1.67
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株主分布状況



(平成28年2月29日現在)

### 所有者別株式分布状況



(平成28年2月29日現在)

### 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	<a href="http://www.poplar-cvs.co.jp/">http://www.poplar-cvs.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

